

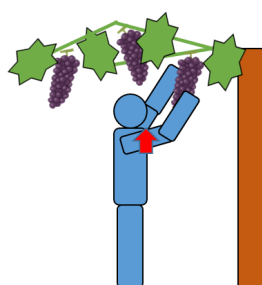
<アシストスーツTASK AR体験レポート>

「TASK AR」は上腕を支え保持するアシストスーツ
腕を上げ続ける作業が多いぶどう農園で効果を検証！



更新日：2020年7月

■腕を上げ続ける作業をサポート



アシストスーツTASK ARは、上腕の下から上方向にアシストが働き、自分の力を使わずに腕を持ち上げてくれます。

空中で肘置きに支えられているようなサポートで、腕を上げ続ける果樹園作業の負担を軽減します。

今回は果樹園の中でも特に腕を上げる作業が多いぶどう農家様に、モニターとして体験導入を行ってもらい効果を検証しました。



モニター協力： 源 池田農園 池田 昇三様

『アシストスーツTASK AR』を体験してくれたのは、大阪府大阪狭山市でぶどうを栽培する池田農園の池田さん。

長年、地域の名産品である大野ぶどうの栽培をしています。

美味しく食べやすいぶどう作りのため、1房1房手作業で手間暇を惜しまない池田さん。

その一方で、年々歳を重ねて行く毎に、腕や肩の負担も大きく感じているようです。

そこで今回は5～6月の2ヵ月間、**ジベレリン処理**、**摘房・摘粒**、**袋掛け**の3つの作業でTASK ARを使用してもらいました。

「この時期は腕を上げ続ける作業が短期間に集中しているので、ぶどう栽培の中でも特に腕・肩の負担が大きく大変です。少しでも楽になれば非常にありがたいです。」とのこと。

早速、その効果を見てみましょう。

■使用してもらった作業



①ジベレリン処理作業

種なしブドウの生産、成長促進のため、ブドウの房を1房ずつジベレリン溶液に浸漬していきます。

ブドウが開花し満開になった時に1回目、1回目から10~15日後に2回目と計2回実施。

時期：4月末~5月中旬



②摘房・摘粒作業

摘房・・・
房に栄養分が行き渡るよう房の数を減らします。

摘粒・・・
粒と粒の間隔を開けるため、粒にハサミを入れ粒を減らします。

時期：5月初旬~6月初旬



③袋掛け作業

害虫、日差し、雨水などの外的要因からブドウを守るため、房に袋を被せます。

時期：6月中旬~6月下旬

■腕を降ろすことなく作業効率UP！

「TASK ARを装着すると、上腕を上げた状態のままずっと作業ができるので、腕、肩部分の負担が減って非常に楽になりました。特に一定の高さの棚で作業する時は、腕を動かさずに次から次の房へと移動出来るので、休憩時間も減り作業効率も上がったと思います。」



■電力を使用しないガススプリング方式！

TASK ARはガススプリング方式を採用しており、ガスの反力によって腕を持ち上げます。

バッテリーやケーブルを使用しない電力未使用の設計となっています。

「電力を使っていない点がとても扱いやすいです。充電などを気にする必要がなく、ほとんどメンテナンスもいらないので、使いたい時に装着するだけですぐにアシストしてもらえます。」

■活用のコツは「アシストスーツに合わせて動き方を変える」こと！

かく言う池田さんも、初めの1週間は扱い方に慣れず効果を実感しきれれていませんでした。

「TASK ARを使うにはやはり慣れが必要不可欠だと思います。というのも、TASK ARは機械ものなので上腕を上方向に上げる一定の力が働いていますが、人間は様々な方向に動けるので、普段通りに腕を動かしてしまうとかえってアシストが邪魔になる時がありました。」とのこと。

しかし、その後だんだんと慣れて上手く使いこなせると、効果を実感できるようになりました。

「2カ月間と長期間使わせてもらい、だんだんとアシストスーツに合った使い方をできるようになりました。

TASK ARのアシストに腕を預けてしまい、腕を一定の位置で固定した使い方を意識することで、格段に効果を感じる事が出来ました。」

TASK ARの活用は・・・

アシストスーツに合わせた動き方をすることが重要になります。

<モニター取材協力>
大野ぶどう 源池田農園
池田 昇三様

⇒ [池田農園ホームページ](#)

大阪府大阪狭山市ぐみの木7-2104

